

令和 4(2022)年 11月 11日(木)～12月 10日(金)

岐阜市人権尊重推進強調月間に開催した主な催し

1 '22 人権の広場 11/13(日)岐阜市文化センター小劇場

第 31 回「人権の広場」を開催しました。

第 1 部では、令和 4 年度岐阜市小・中学生募集

「人権に関する詩と標語」の入賞(最優秀賞、優秀賞)者への表彰及び作品の発表を行いました。



【最優秀賞】

〈詩部門〉

白山小学校 6年 牛嶋 恭子さん

〈標語部門〉

長良小学校 6年 中陣 由翔さん

岐阜清流中学校 3年 藤井 悠生さん

【優秀賞】

〈詩部門〉

本荘小学校 6年 辻 光莉さん

本荘小学校 6年 上野 希実さん

長良小学校 6年 岡田 ななかさん

〈標語部門〉

三輪南小学校 6年 坂口 陽基さん

早田小学校 6年 板倉 真子さん

岐阜清流中学校 3年 林 祐衣さん



〈参加者の声〉

- 市長さんが子どもたちに直接賞状を渡してくださり、その作品について感想や激励をいただける機会はいいなあと感じた。
- 市の未来を担う小中学生が人権について様々に考えていくことが頼もしいと思う。
- 受賞者は非常に勇気づけられ、日常生活で他の子(人)に対して良し悪しを会話で話してくれ、また行動も見本になれるのでは。



第 2 部では、「子どもの心の声を聴く ～安心と楽しいを一緒に～」と題して、アフターケア相談所 所長 高橋 亜美さんにご講演いただきました。「大人になってなお、かつて受けた虐待の傷に苦しむ人たち」「ありのままの自分を受け入れ、寄り添い、共に生きる」というメッセージが印象的でした。

〈参加者の声〉

- Zoom で講演を聴かせて頂きました。児童の貧困問題について、改めて考える機会になりました。
- 今回の講師をテレビで拝見して、岐阜市にすごい活動をしている人がいると思っていたので、実際にお話を聞くことが出来てとても良い機会になりました。
- 大変な環境の中で過ごしている人たちの現実を知ることができました。
- 虐待してしまう親側の話も聞いてみたいです。
- 私に何ができるのかな。多くの場で多くの人と考え、話し合ってみたい。
- 昔の自分とは違う。このような相談所があったら、いじめや貧しさに遭わなかったと思いました。
- 高橋さんの講演を聞き、子どもたちに限らず、困った人たちに対して、自分自身が安心してもらえる存在であるように、日々自分を磨いていかなければと思う。なるほどと思うことの多い講演内容でした。
- 講師の話は、とても重いテーマを含むものであったが考えさせられた。普段当たり前と思っていることが、決して当たり前ではないことを痛感した。



2

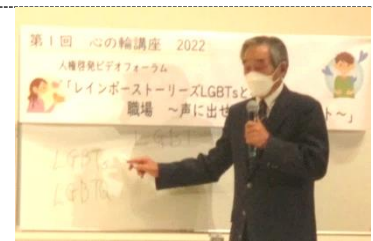
心の輪講座 2022 11/17(木)、12/5(月)、13(火)ぎふメディアコスモスみんなのホール

岐阜市は、心に潜む「偏見」や「こだわり」をみつめ直し、差別をなくそうと努力する人権学習ボランティア団体「心の輪の会」と共催で、「心の輪講座 2022」を開催しました。

回	日時	演題・講師	参加人数
1	11月17日(木) 午後2時～ 午後3時30分	人権啓発ビデオフォーラム「レインボーストーリーズLGBTsと社会① 職場～声に出せないハラスメント～」を見て コーディネーター:心の輪の会会長 市講師団 中村 正信さん	47
2	12月5日(月) 午後2時～ 午後3時30分	テーマ「女性の人権」～差別の現実～ 講師:特定非営利活動法人 あゆみだした女性と子どもの会 理事長 廣瀬 直子さん	75
3	12月13日(火) 午後2時～ 午後3時30分	テーマ「子どもの今を知り、未来を守る」～まわりの大人として～ 講師:情報モラル教育研究所 代表 上水流 信秀さん	55

〈参加者の声〉

- LGBTs への関心度があがっているが、まだまだ知識の低さがある。学ぼうという姿勢がある方は良いが、全く学ぼうとしない人にどう向き合えるか?と考えさせられました。
- 何気ない言い方で傷つけてしまっているかもしれないので、普段から意識していかないといけないと感じた。
- 広く皆さんの意見が聞けたので良かった。LGBTs とSDGS 社会と結びつけることがあったのもよかった。
- アンコンシャス・バイアスやジェンダー・バイアスの話が深く聞いて参考になりました。二次被害を出さないためにも、一人一人の正しい理解が必要だと改めて感じました。
- 男性の相談先も作ってほしいです。「弱さのほき出せる社会」「弱さをさらけ出せる社会」がいいですね。
- いろいろなデータを用意してくださったので、興味深かったです。
- 男らしさ、女らしさという言葉もなくなるような世の中になれば、もっと誰もが生きやすくなるのかなあと思いました。



中村 正信さん



廣瀬 直子さん

- ネット社会について考え方が変わりました。ネットの環境、例えば、ゲームを長時間やっているとか子どもに悪いことだと思っていました。しかし、今の社会はそうではなく、そのような社会となっていること。まずは、理解することが大切だと思いました。そして、3つの危険について理解し、子どものことを守るという意味でも、子どもに対して威圧的にならず、活動していきたいと思います。ネットについて子どもだけでなく、自分自身のことにおきかえても勉強になりました。
- 頭ごなしに子どもを叱っても、子どもに響かないので、子どもの今の環境を理解し、アドバイスをすることが大切なのだと思います。ネットはとても便利だけど、こわいものだと思っていましたが、よりその思いが強くなりました。ネットなしでは生活できない環境なので、まず、大人である私たちがネットの怖さを理解し、自分を守る行動をしたいと思います。そして、子どもたちにも教えていきたいと思います。教えるうえで、あれはダメ、これもダメ、というのではなく、子どもが危険に自ら気がつきかけを与える。大丈夫?と言う。「現状を肯定し、共感からスタート。これならできると思わせましょう」この言葉は子どもに対してだけでなく、上司と部下、パートナーに対してなどでも同じことだと思いました。



上水流 信秀さん

3 人権パネル展 12/5(月)~9(金)ぎふメディアコスモスドキドキテラス

より多くの市民の皆様にも、人権について感じ、考える機会を持っていただくため、「人権パネル展」を開催しました。

人権擁護委員、更生保護関係団体(岐阜山県保護区保護司会・岐阜市更生保護女性会・BBS 会)、岐阜市障害者生活支援センター、風の芸術村などの人権関係団体の協力を得て、人権啓発に関わる展示を行いました。



12月6日(火)には「人権広報大使ミナモ委嘱式」が行われました。

会場に訪れた方々は、パネルを熱心に見て回られ、その言葉や表現からさまざまな見方や考え方、感じ方を受け止めてくれました。



人権啓発フェスティバル IN ぎふ、12/10(土)マーサ 21

岐阜地方務局、岐阜県人権擁護委員連合会、岐阜県、岐阜市から構成する岐阜県人権啓発活動ネットワーク協議会で「人権啓発フェスティバル IN ぎふ」を開催しました。

人権啓発に関する展示やグッズ配布、人権啓発に関する CM 動画を放映しました。